

●円山動物園ホッキョクグマの赤ちゃん誕生について

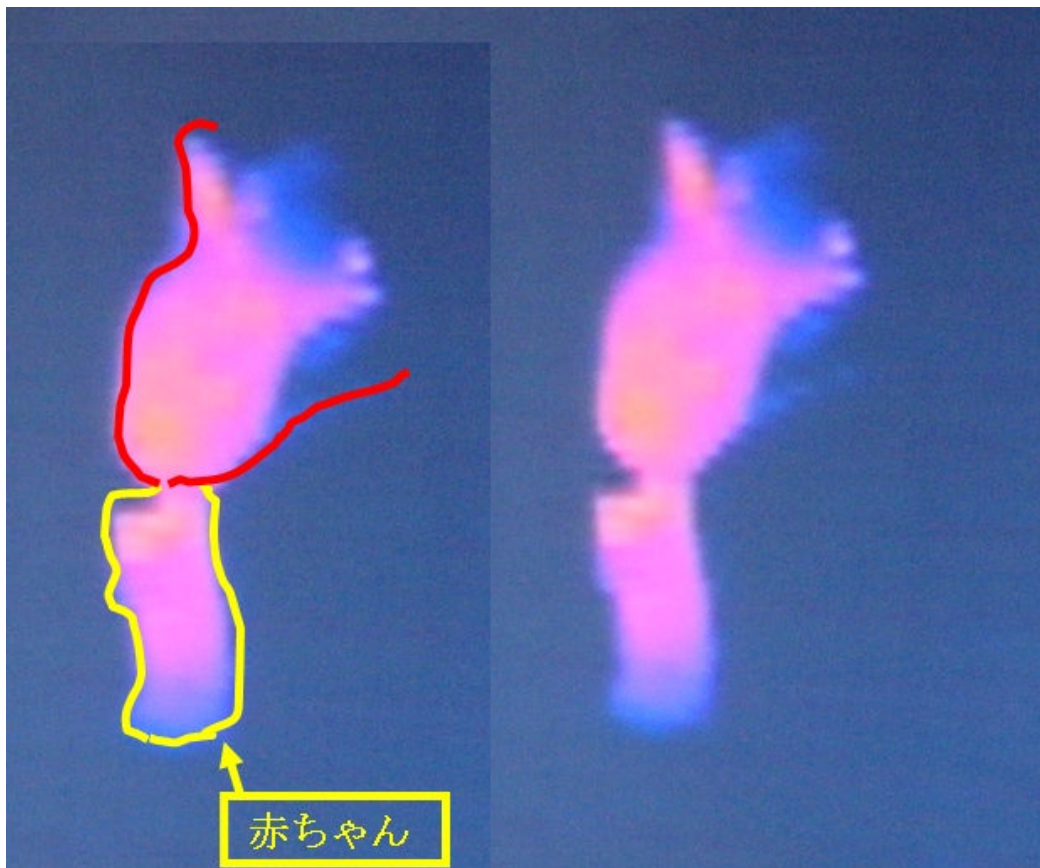
この度、札幌市円山動物園のホッキョクグマ「ララ」が赤ちゃんを出産しました。

現時点では、1～2頭の赤ちゃんの鳴き声と「ブブブブブ」という乳を吸う音を確認しています。

ホッキョクグマは、2006年（平成18年）に国際保護連合（IUCN）により絶滅危惧種に指定されましたが、今回の出産・生育が成功した場合は、絶滅危惧種指定後、日本で初めての赤ちゃん誕生成功例となります。また、2000年（平成12年）以降でホッキョクグマの繁殖・生育に成功しているのは、日本で円山動物園だけです。

飼育下でのホッキョクグマの自然繁殖は難しいとされており、世界中の動物園でも年に数頭しか成功しないため、今回の出産は非常に貴重です。

1 出産時の映像



この画像は、札幌トヨペット株式会社様から寄贈されたサーモグラフィーカメラの映像で、12月9日に産み落とした赤ちゃんをくわえあげたときのものです。

2 出生日時

2008年（平成20年）12月9日（火）午後10時50分ごろ

3 出産頭数・性別・体重

不明

出産前後の母グマは非常にデリケートで、監視カメラの映像と音声のみで生育状況を確認しているため。

4 円山動物園の飼育・繁殖状況

(1) 飼育個体

デナリ（オス 15 歳）、ララ（メス 14 歳）、さつき（メス 17 歳）

(2) 繁殖実績

2003 年（平成 15 年）12 月 11 日 ララ出産 ツヨシ（メス）

2005 年（平成 17 年）1 月 22 日 ツヨシ、釧路市動物園へ転出

2005 年（平成 17 年）12 月 15 日 ララ出産 ピリカ（メス）

2007 年（平成 19 年）2 月 2 日 ピリカ、おびひろ動物園へ転出

5 ホッキョクグマの現状

ホッキョクグマは、地球温暖化等の影響を受け 2006 年（平成 18 年）に国際保護連合（IUCN）により絶滅危惧種に指定されました。

世界の動物園では、2005（平成 17 年）年現在で 160 施設 360 頭が飼育されており、世界的に飼育頭数の減少が加速しています。日本では、2007 年（平成 19 年）現在 24 施設 49 頭が飼育されています。

6 今後のスケジュール

「世界の熊館」はララ出産準備のため 11 月から閉鎖中で、母熊がストレスにより育児放棄などに至らないようにするための措置として、現在も観覧はできません。飼育下のホッキョクグマは、誕生後も無事に生育しない例が数多くあります。今のところ赤ちゃんたちは元気な声をあげていますが、無事公開となるまでの間、その健全な生育を祈って見守るしかありません。

今後は、赤ちゃんの成育を監視カメラで見守りながら、3 月下旬には性別判定のための DNA 鑑定を行う予定ですが、最終的な確定には 1 年以上掛かる場合があります。

赤ちゃんの一般公開も 3 月下旬を予定しています。

問い合わせ先

環境局円山動物園飼育展示課 渡邊・向井

電話：621-1426